

青森産技 プレスリリース

AITC Press release 2018.8.20



あおもりの未来、技術でサポート

地方独立行政法人 青森県産業技術センター
水産総合研究所

★組織名称の表記についてのお願い

地方独立行政法人青森県産業技術センターは県庁の組織ではありません。
地方独立行政法人青森県産業技術センターの名称を省略して表記する場合には、地方独立行政法人であることが明確に分かるよう、『(地独)青森県産業技術センター』又は、当センターの略称『青森産技』をお使いくださるようお願い申し上げます。

また各研究所の表記につきましても、「県〇〇研究所」ではなく、「(地独)青森県産業技術センター〇〇研究所」、又は「青森産技〇〇研究所」と表記してくださるようお願いいたします。

青函水産試験研究交流会議講演会を開催します

青森県と北海道（函館）は、津軽海峡という共通の研究フィールドを持つことから、青函地域における水産試験研究交流と水産業の一層の振興を目的に平成3年度から研究交流が始まり、平成9年度から青函水産試験研究交流会議を交互に開催し、研究で得られた成果について発表しあってきました（近年は2年に一度の開催）。

今年度は、注目されるスルメイカの資源変動をはじめ、マナマコの種苗放流、マダラの生態・資源変動、ホタテガイ養殖技術に係る内容で、下記のとおり開催しますのでお知らせします。

記

- 1 日 時 平成30年9月12日(水) 13:00～16:00
- 2 場 所 青森県水産ビル 6階 研修室
(青森市安方一丁目1-32)
- 3 対象範囲 水産関係者
- 4 内 容



<基調講演>

「スルメイカ等の資源変動と気候レジームシフト」

(一財)函館国際水産・海洋都市推進機構 函館頭足類科学研究所 所長 桜井 泰憲

<発表課題>

- (1) 「北海道で取り組んでいるマナマコ人工種苗放流による資源添加効果について」
(地独)北海道立総合研究機構 水産研究本部 函館水産試験場 主任主査 酒井 勇一
- (2) 「マダラ陸奥湾産卵系群の生態と資源変動について」
(地独)青森県産業技術センター水産総合研究所 研究員 三浦 太智
- (3) 「養殖ホタテガイの稚貝へい死に関わる危険因子の検討」
(地独)北海道立総合研究機構 水産研究本部 函館水産試験場 主査 金森 誠
- (4) 「ICTを利用したホタテガイ養殖技術開発」
～養殖施設の遠隔モニタリングシステムや波浪予測システム～
(地独)青森県産業技術センター 水産総合研究所 研究員 秋田 佳林

問 い 合 せ 先

(地独)青森県産業技術センター 水産総合研究所
主任研究専門員 金田一 拓志
電話：017-755-2155
E-mail: takushi_kindaichi@aomori-itc.or.jp